

令和8年熊本地震に係る第1回岐阜県災害支援対策本部員会議

【日時】 令和8年7月31日(金) 14:30～

【場所】 5階 災害対策本部室

次第

- 1 令和8年熊本地震の状況と被害概要について
- 2 県の支援について
- 3 本部長（知事）指示

1 令和8年熊本地震の状況と被害概要について

1 令和8年熊本地震の状況と被害概要について

○地震の状況

- ・発生日時：令和8年7月28(火) 16時27分
- ・震源：熊本県熊本地方、深さ約10km
- ・マグニチュード：7.1
- ・各地の震度：九州地方を中心に震度7～1を観測
震度7 熊本県宇城市、氷川町
震度6強 熊本県熊本市南区、八代市、宇土市、
美里町、益城町

<県内震度>

震度1 岐阜県海津市、輪之内町

1 令和8年熊本地震の状況と被害概要について

(消防庁 7月31日 13:30現在)

○人的被害：【熊本県】 126人（うち死者35人、
重症6人）

【大分県】 軽傷1人

【福岡県】 軽傷1人

【鹿児島県】 軽傷1人

○住家被害：【熊本県】 全壊1棟、一部破損1棟

【福岡県】 一部破損8棟

○重要施設：現時点で被害報告なし

1 令和8年熊本地震の状況と被害概要について

(7月31日 7:30現在)

○避難情報

【熊本県】

避難所開設 390箇所
避難者数 9,105人

○ライフライン

【電気】

停電4,540戸(熊本県)

【ガス】

8,892戸供給停止(熊本県八代市)

【水道】

断水79,100戸(熊本県熊本市、
宇城市、宇土市、御船町、上天草市、
八代市、氷川町、天草市、芦北町、甲佐町)

1 令和8年熊本地震の状況と被害概要について

(7月31日 7:30現在)

○その他：重大事象

【熊本県】

- ・ 八代市の日本製紙八代工場にて、工場の煙突が崩落。閉じ込められた11名全員を救助し、うち9名は死亡
- ・ 嘉島町の商業施設（イオンモール熊本）にて爆発が発生、12名救助し、うち7名は死亡引き続き、搜索エリアごとに分けて搜索中

1 令和8年熊本地震の状況と被害概要について

【熊本県の状況】

(熊本県発表 7月31日 7:30現在)

市町村	避難所	避難者	軽傷	中等症	重症	心肺停止	死亡	分類未確定	停電(戸)	断水(戸)	給水所(箇所数)
熊本市	179	929	8	46	1	0	0	0	0	8700	17
宇土市	9	682	0	0	0	0	0	0	0	12200	5
宇城市	7	2917	0	0	0	0	2	0	430	17800	9
美里町	4	73	0	2	1	0	0	0	0	0	0
荒尾市	6	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市	2	80	1	0	1	0	0	0	0	0	0
玉東町	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和水町	5	44	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南関町	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長洲町	3	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市	7	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菊池市	3	27	0	0	0	0	0	0	0	0	5
合志市	3	28	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大津町	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
菊陽町	5	23	2	0	0	0	0	0	0	0	3
高森町	5	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西原村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
御船町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2100	2
嘉島町	0	0	6	0	0	0	7	0	0	0	0
益城町	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5
甲佐町	1	4	0	0	1	0	1	0	0	400	5
山都町	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
八代市	63	3562	0	0	0	0	20	0	2460	25300	14
氷川町	4	305	0	0	0	0	4	15	1650	3200	2
水俣市	14	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町	6	32	0	0	0	0	0	0	0	1000	1
津奈木町	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人吉市	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	7
あさぎり町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
球磨村	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	4	77	0	0	0	0	0	0	0	1100	3
上天草市	48	68	0	0	0	0	0	0	0	7300	6
苓北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	390	9105	21	48	6	0	35	16	4540	79100	88

2 県の支援について

2 県の支援について

○県職員の派遣について

- ・宇城市へリエゾンを1名派遣（8/3～8/9予定）
- ・宇城市へ支援職員を5名派遣（8/3～8/9予定）
→避難所、物資集積拠点で活動予定
- ・8月2日（日）に出発式を実施予定

○宇城市内の状況（7月31日 12時時点）

- ・避難所 12か所開設
- ・物資集積拠点 1か所稼働

2 県の支援について

○DMATの派遣について

- ・ 自動待機基準に基づき、現在待機中

○赤十字義援金について

- ・ 日本赤十字社岐阜県支部から義援金受付への協力依頼があり、県有施設44か所に対し、募金箱設置の可否について確認中

【要旨】 福岡市と中部ブロック構成県による状況共有会議

○宇城市の状況

- ・ 人命救助は落ち着いており、現在は生活支援が主体
- ・ 宇城市の職員は、疲弊もあり、管理職が現場に出て作業している状態
- ・ 早急な人的支援が必要
- ・ コンビニは営業しているところもあるが、どこも品薄で、飲み物しかない状況
- ・ 道路被害は軽微
- ・ 渋滞が常態化しており、ガソリンが不足
- ・ 熊本市内は物資等は潤沢
- ・ 2時間に1回程度、余震が発生

【要旨】 福岡市と中部ブロック構成県による状況共有会議

○宇城市内の避難所の状況

- ・ 避難所の環境が劣悪であり、環境の改善が急務
- ・ 電気は通っているが、水道は止まり、水が不足
- ・ トイレは使用不可
- ・ 段ボールベッド、パーテーション等も設営できておらず、床に雑魚寝（物はあるが設営できる人材がい
ない）

3 本部長指示

- はじめに、このたびの災害により被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。被災地では、今なお多くの方々が大変暑い中不自由な生活を余儀なくされ、不安な日々を過ごしておられる。一日も早く復旧・復興が進み、被災された皆様が平穏な日常を取り戻されることを心から願う。
- 先ほど官邸の会議に出席し、その中で総理から、万全の体制で支援を行うよう要請があった。また、昨夜の段階で熊本県の木村知事から、短期・中期・長期にわたる継続的な職員派遣をお願いしたいとの話があった。
- 派遣職員においては、被災自治体及び関係機関と連携し、避難所及び物資集積拠点の運営支援に万全を期すこと。被災者の視点に立ち、現場のニーズを的確に把握しながら、迅速かつ的確な支援活動に当たることを心掛けていただきたい。
- 今後の状況の変化によっては、新たな支援ニーズが発生することもある。特に暑さについては今後も続くと思込まれるため、様々な課題が生じる可能性がある。各部局においては、関係機関との連携を密にしながら、現場の状況を継続的に把握し、必要な支援要請があった際には迅速かつ的確に対応できるよう、あらかじめ支援体制や資機材、人員確保など必要な準備を進めてもらいたい。
- 昨日の段階で県内企業の皆様からも、現地では物資が不足しているとの報道を見て、必要であれば企業としても支援できる体制を整えているとの話をいただいている。企業の皆様のご厚意も含め、しっかりとした支援体制を構築してもらいたい。
- 加えて、今回派遣される職員の健康管理も非常に重要であるため、その点についてもバックアップ体制をしっかり整えてもらいたい。
- 県として、被災された方々の安全・安心の確保と一日も早い生活の安定、さらには地域の復旧・復興につながるよう、引き続き万全の態勢で支援に取り組んでももらいたい。